

令和5年度島根大学大学院

教育学研究科入試問題（I期）

《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》

小論文（出題意図）

『令和の日本型学校教育（答申）』の中で「ウェルビーイング」という用語が用いられており、答申全体を貫く基本的視座の一つとなっている。政府のこれから出される他の施策文書の基本的視座の一つにもなっていくと考えられる。問題では、社会構造の急激な変化のなかで生じる様々な教育課題に対し、解決に向かう具体的な方策を立て取り組むことのできる力を問うため、「ウェルビーイング」に関わる課題文を用意し、自身の持つ知識や日本の社会や教育の現状把握と繋ぎ合わせて思考し、教育実践としての具体的な提案を論理的に書き表すことを求めた。